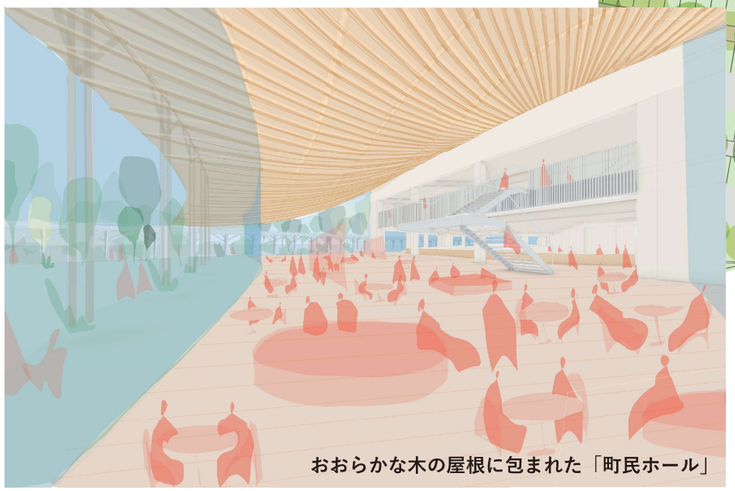
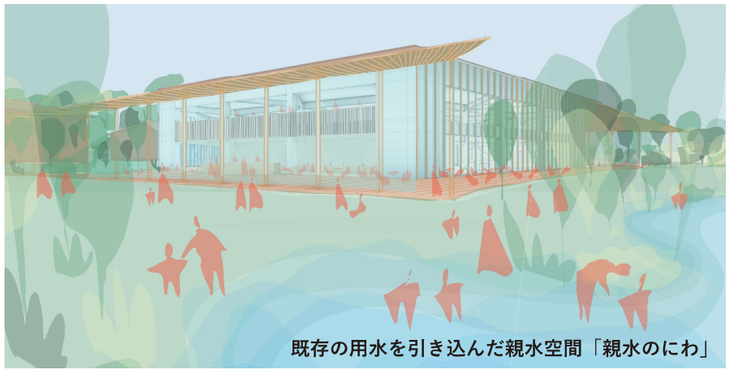
様式８　企画提案書（2/3）

＜テーマ１「庁舎建設及び周辺整備基本方針」について＞

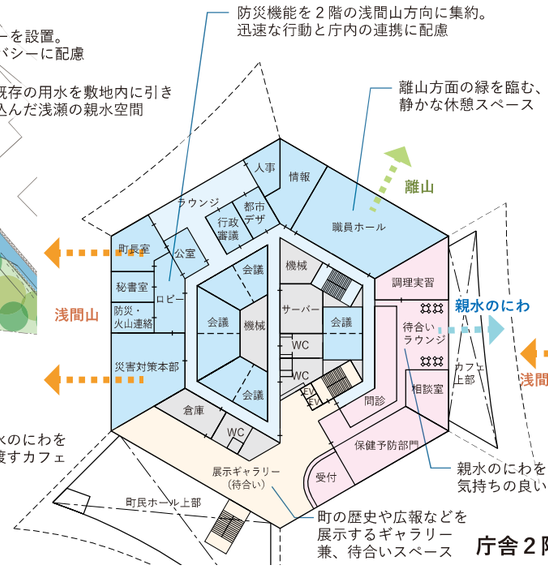


おおらかな木の屋根に包まれた「町民ホール」

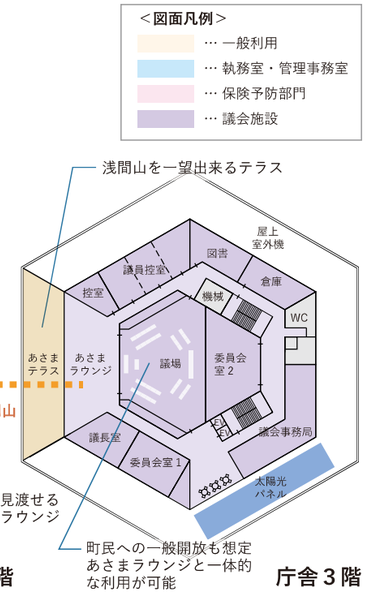


既存の用水を引き込んだ親水空間「親水のにわ」

配置図・１階平面図 S=1/1,000



庁舎２階



庁舎３階

行政サービスの日々の進化に対応する「フレキシビリティの高い空間構成」

１階に窓口機能を集約し、ゆとりある待合いスペースの「町民ホール」を併設させ、ワンストップサービスに対応した誰でも使いやすい構成とします。執務空間は柱や壁を極力減らし、フリーアドレス対応オープンスペースとして将来のレイアウト変更やサービスの進化に柔軟に対応できるよう配慮します。

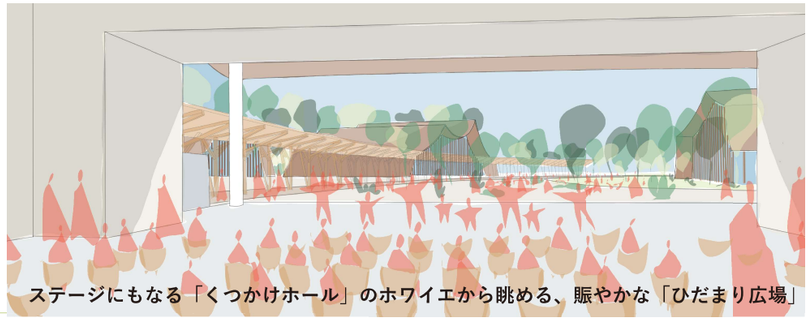
災害時の迅速な行動と連携を可能にする「合理的な室配置」

防災拠点となる防災対策本部を中間階である２階の町長室に併設させ、浅間山が常に目視できる配置として災害時の迅速な行動と庁内の連携を強化します。

森の中で多様ないくつもの「広場」と「にわ」が建築群をつなぐ

芝生ステージ前の町民ホール、森の休憩ラウンジ、親水のにわに面したカフェなど、訪れた利用者が様々な場面で多様な景観にふれることができます。

ウッドウォークから見渡す、広々とした「芝生ステージ（広場）」



ステージにもなる「くつかけホール」のホワイエから眺める、賑やかな「ひだまり広場」

住民主体で運営管理しやすい、「低層分棟式の複合施設」

扱いやすい規模の建物として、住民が主体的に運営管理に関われる環境を整えます。

内外に多様な関係を生み出す

建物群の間に多様な個性をもった外部空間を創出します。内部空間と外の自然・景観が交感する多様性の中で、利用者の様々な活動を誘発します。

柔軟に対応可能な分棟形式

複合施設の具体的な使い方や機能の協議に合わせて、面積・配置・棟数など柔軟に調整して対応することができます。

面積表

庁舎：		複合施設：	
１F	3,300 ㎡	A 棟	1,380 ㎡
２F	2,650 ㎡	B 棟	1,930 ㎡
３F	1,460 ㎡	C 棟	910 ㎡
防災倉庫	60 ㎡	D 棟	800 ㎡
延床	7,470 ㎡	延床	5,020 ㎡